

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	自治会に加入しており、地域行事には積極的に参加している。 運営推進会議のメンバーである民生委員の骨折りで、隣接の農地の無償供与を受けている。同じく会議メンバーの老人会会長の働きかけによって、地区内の大学から「龍」のイルミネーションの供与を得る等、交流は盛んである。この取り組みは、日刊紙でも紹介された。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	2ヶ月に1度開催する運営会議の主な議題は、施設における活動報告であるが、時の話題を「一口講座」という形で披露したり、要望によるショートステイの受入れを行った。 会議の参加メンバーが積極的に地域に働きかけを行っており、様々な効果が表れている。	
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	管理者は市（長寿課）との協議で認知症サポーター養成講座の講師をしているほか、市の要請の下に介護相談員就任希望者の実習の受入れを引き受けており、市との協力関係は良好である。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	意見箱を設置しているほか、家族来所時の機会をとらえて意見・不満・要望等の把握を行っている。内容は「苦情受付ノート」に記載して協議し、職員に周知すると同時に迅速な対応を心掛けている。 家族への便りである「なごみや新聞」は発刊から30号を超え、内容が一段と充実してきた。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	
総合評価		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

運営推進会議が本来機能を果たし、地域との交流やホームのサービス向上に大きく貢献している。
--

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	（例示） 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	（例示） 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	（例示） 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。